

ISFJ Inter-university Seminar for the Future of Japan

文責：日下拓也

【開催日時】

2013年9月22日（日）

【会場】

同志社大学 新町キャンパス

【参加者】

11大学 26研究会 259名



【企画概要】

ISFJは、「学生の政策提言を通じた、学生の望む日本社会の実現」という理念のもと、その最終的な目的は学生により提言された政策が実現されることを目的に活動しております。そのためには、提言された政策が現実社会の問題に対する解決策として実用的であること、また、政策が実現可能であることが重要となります。

中間発表会はその政策提言論文の進捗状況の発表を行う場として位置づけられており、論文の分野ごとに設置する分科会に実務家や大学教授の方々をゲストコメンテーターとしてお招きし、ご意見・ご講評をいただくことで論文の一層の充実を図ることを目的としております。

【具体的内容】

中間発表会では、類似した研究テーマで論文を執筆してきた4～9の研究会で構成される全9分科会ごとに会場を分け、それぞれ執筆途中の政策提言論文の中間報告を行いました。その研究会ごとの発表内容に対しゲストコメンテーターの方々にご意見・ご講評をいただきました。

【総評】

中間発表会は、勉強会・中間カンファレンスを経てスキルを磨き方向性を定めた参加者が論文執筆の進捗状況を報告し、完成に向けた調整を行います。今回の発表会では、論文テーマにより構成された分科会で各研究会の発表を行い、それに対する質疑応答とゲストコメンテーターの方々からのご講評をいただきました。参加者は限られた時間の発表を経験し、他の研究会を交えた活発な質疑応答がなされました。ゲストの方々には事前に中間論文を拝見していただいたこともあり、当日は論文の細部にいたるまで具体的かつ的確なアドバイスをいただくことができました。参加者は、論文の構成や分析のアプローチの仕方など多岐にわたるアドバイスを受ける

ことができ、今回の中間発表会が論文執筆における最終的な調整の機会になったのではないのでしょうか。

11月・12月開催予定の政策フォーラムに向け、運営スタッフも参加者のみなさまと一丸となりより一層精進して参ります。

